

第1・2回専門部会で頂いたご意見や、内容の重複や組み替えの整理を行い、第3回でアクションプランを提示しました。そこから、第4回の専門部会のご意見を踏まえてアクションプランをまとめ直しています。

第3回検討部会より変更があった部分を赤色提示

	目標	アクションプラン	
基本方針1 活動の創出	1.【商業】 いきいき元気な商業のまち	1-1 活気あふれる商店街づくり	①多様なニーズに応える商業の集積と担い手支援 ②多様な人々を呼び込むプロモーション活動の拡充
	2.【産業・ビジネス】 産業やビジネスが育つまち	2-1 業務機能の充実	①立地特性を活かした業務機能の誘導 ②経済活動の活性化を図る産業支援の促進 ③ビジネスパーソンを支えるプラットフォームの構築
	3.【暮らし】 多様な人が快適に暮らせるまち	3-1 生活利便機能の充実	①多様な人々の暮らしを支える機能（施設・サービス）の充実 ②地区への愛着を育む学び・交流機能（施設・サービス）の充実
	3-2 地域コミュニティの活性化	①人々の支えあいを育む交流機会の充実と参加促進	
基本方針2 都市空間の充実	4.【観光】 国内外と繋がり、何度も訪れたいまち	4-1 様々な観光施策の展開	①旅行者を引き付けるイベントやプロモーションの充実 ②旅行者等を受け入れる人材の育成 ③羽田空港利用者が立ち寄りやすい（宿泊・利便施設）の充実
	5.【駅・駅前広場】 ゆとりを感じる利便性の高い駅と基盤施設	5-1 広域拠点の中心に相応しい蒲田駅へのリニューアル	①利便性が高く人々を集めるJR・東急蒲田駅の再整備 ②まちの顔となる駅ビルの駅と一体的なリニューアル
		5-2 広域的なアクセシビリティを高める新空港線の整備	①区内の円滑な移動と広域的な利便を生む新空港線整備の推進
		5-3 東西のまちをつなぐ骨格動線の整備	①歩行者・駅利用者の円滑で快適な移動を支えるJR・東急蒲田駅東西自由通路の整備 ②JR・東急蒲田駅東西の連絡性を強化する通路の整備
5-4 地域の交通や活動の拠点となる駅前広場の創出	①多様な移動手段や駅とまちをつなぐ駅前広場の機能向上		
基本方針3 環境の向上	6.【歩行者空間】 歩いてめぐり楽しめるまち	6-1 歩行者空間の魅力の向上	①歩行者の円滑な移動と多様な活動を支えるストリート空間の創出（街路空間の再構築） ②歩行者の安全とまちのにぎわいを創出する駐車場の適正化 ③緑と潤いのある呑川沿いの散策路の整備

	目標	アクションプラン		
基本方針2 都市空間の充実	7.【交通】 様々な手段で快適に移動できるまち	7-1 自転車の利便性の向上	①地域住民の移動を支え利便性の高い自転車駐車場の整備 ②自転車や歩行者が安全に移動できる自転車利用環境の確保 ③回遊を促し公共交通を補完するコミュニティサイクルの拡充	
		7-2 新たなモビリティサービスによる利便性の向上	①新たなモビリティを受け入れる柔軟な交通環境の整備	
基本方針3 環境の向上	8.【建物】 建物の更新や活用が進むまち	8-1 複合的な市街地の形成による活力の向上	①沿道のにぎわいを連続する複合市街地の形成 ②人々が留まり、にぎわいを生むオープンスペースの拡充 ③まちの更新を図る老朽建物の代替と公共施設や街区の再編 ④空間的資源の活用によりにぎわいを創出する建物ストックの有効活用	
		9.【防災】 災害に強いまち	9-1 防災・減災に向けた機能確保	①重要な拠点として災害時に都市活動が継続するための備え ②あらゆる危機を想定したレジリエンス（強靱性）の確保
			9-2 防災・減災に向けた取り組み	①地震に強いまちづくりの推進 ②水害に強いまちづくりの推進 ③被災者・帰宅困難者を守る一時避難施設や防災備蓄の整備
基本方針3 環境の向上	10.【ユニバーサルデザイン】 誰もが使いやすい人にやさしいまち	9-3 官民連携による防災体制	①災害に備えた自助・共助・公助の体制づくり	
		10-1 ユニバーサルデザインの推進	①人々の多様性を認め受け入れる心のバリアフリーの推進 ②外国人とのコミュニケーションを円滑にする多言語化の推進	
		10-2 バリアフリー整備の促進	①誰もがスムーズに移動できるバリアフリー化の推進 ②誰も迷わない分かりやすいサインの整備	
		10-3 ICTの活用による利便性の向上	①全ての人を支える先端技術を駆使した環境の整備	
		11.【美化・景観】 個性と魅力のあるまち	11-1 清潔なまちの維持	①まちをみんなで綺麗にする美化活動の促進
11-2 個性や魅力あるまちの確保	①蒲田らしい固有の魅力を活かした景観の育成			
12.【自然・環境】 自然を感じ、環境にやさしいまち	12-1 緑のやすらぎ空間づくり	①回遊と交流を生む緑を感じる環境の創出 ②親水性の向上と潤いを創出する呑川の水質改善		
	12-2 環境に配慮したまちづくり	①まち全体で取り組むエネルギー負荷の低減 ②暑い日もまち中で快適にすごせるための暑さ対策の推進		
13.【防犯】 安全安心なまち	13-1 地域を見守る環境づくり	①安心してすごせるための地域の力でつくる安全な環境 ②正しく自転車に乗るうマナーアップの推進		

	目標	No.	APタイトル(細)	取組み	実施主体	現行AP(細)	取組み	
基本方針1 【活動の創出】	1 【いきいき元気な商業のまち】 商業環境の整備などにより多様な人々のニーズに応じた 商業の集積 を促進するとともに、蒲田らしさを活かした イベントの開催や情報発信 に取り組み多様な人々を呼び込むことで、地域住民や来街者でにぎわうまちを創出し、商業で生まれる活力が将来に持続する商業のまちを目指します。	1	① 多様なニーズに応える商業の集積と担い手支援	後継者問題 新たなリーダー 空き店舗 ・後継者問題 ・次世代リーダー育成や専門人材の採用 ・空き店舗に関する情報公開 ・商店街の連続性 ・ニーズやライフスタイルの変化に対応	行政 事業者 商店街	AP1-1③ 活力が持続する商店街づくり	後継者問題 空き店舗 ・後継者問題に取り組む ・空き店舗に関する情報収集に努める ・商店の連続性を確保 ・学生の増加に伴うニーズの変化に対応	
			② 多様な人々を呼び込むプロモーション活動の拡充	イベント開催 商店街やイベントのPR・情報発信 ・継続したイベントの開催 ・多様な主体と連携したイベントの開催 ・商店街のPR、イベントの情報発信の強化	行政 区民 事業者 エリマネ	AP1-1① 地域イベントの活性化 AP1-1② 商店街・地域イベントの情報発信	イベント開催 商店街やイベントのPR ・様々なイベントの連携・活性化を図る ・姉妹・友好都市や地域の学校などとも連携したイベントの支援 ・商店街やイベントのPRを支援	
	2 【産業やビジネスが育つまち】 羽田空港との近接性や交通結節性を活かし、 業務機能、産業支援機能やビジネス交流機能 などの誘導を図るとともに、羽田空港やHANEDA INNOVATION CITYとの連携を強化することにより、産業やビジネスが育ち新たな価値を創造し、国内外へ発信するまちを目指します。	1	① 立地特性を活かした業務機能の誘導	業務機能の誘導 (区内企業、HiCityとの連携) ・国内外の業務機能の誘導 ・海外ベンチャー企業や国内外企業のサテライトオフィスの誘導 ・区内企業、HiCityとの連携	行政 事業者	←	新規	
			② 経済活動の活性化を図る産業支援の促進	産業支援機能の誘導 交流機会の創出 ・産業支援機能の強化 ・産業プラザPi0の活用 マッチング支援 実証実験の機会の提供 製品を展示・紹介する機会の提供	行政 事業者	←	新規	
			③ ビジネスパーソンを支えるプラットフォームの構築	ワーカーのための場づくり ・会社に行かずに近場で仕事ができる ・中長期滞在機能をもった宿泊機能	行政 事業者	←	新規	
	3 【多様な人が快適に暮らせるまち】 地域住民の 生活を支える施設 の充実を図ることにより、誰もが必要なサービスを受けることができ、それぞれのライフスタイルを快適に実現できるまちを目指します。また、地域に暮らす多様な人々の交流により、親しみやすいまちを目指します。	1	① 多様な人々の暮らしを支える機能(施設・サービス)の充実	生活支援機能の強化 外国人支援施設の充実 ・医療、教育、子育てなど生活支援機能の誘導	行政 事業者	←	新規	
			② 地区への愛着を育む学び・交流機能(施設・サービス)の充実	学び・交流施設の充実 ・生涯学習を支援する施設や、学習・ワークスペースや交流スペースなどの施設の誘導	行政 事業者	←	新規	
		2	① 人々の支えあいを育む交流機会の充実と参加促進	地域活動への参加促進 在在外国人との交流機会の創出 ・町会・自治会等の地域イベントの情報発信 ・外国人も含む多様な人々が地域サークル活動に参加しやすい仕組みづくりや声掛け等	行政 区民 エリマネ	←	AP3-2① 地域活動への呼びかけ・連携 AP3-2③ 外国人との交流の促進	イベント・防災訓練等のPR 交流や支援の推進 ・町会、自治会等のイベント・防災訓練等のPRを強化 ・周辺の学校も含めた地域コミュニケーションの充実を図る ・在住外国人との交流や支援を推進 ・地域行事への参加を呼びかけ
	4 【国内外と繋がり、何度も訪れたいまち】 空港利用者など様々な人を呼び込むために、蒲田らしい 観光資源の発掘や情報発信 などを進めます。また、 多言語化の充実や宿泊機能の誘導 などを図ることにより、国内外の来街者と住民の居心地が良く、多文化の交流を育むまちを目指します。	1	① 旅行者を引き付けるイベントやプロモーションの充実	イベント開催 情報発信 ・観光資源を活かしたイベント開催 ・イベントの内容充実 ・個性や魅力をより明確に発信・PR	行政 区民 事業者 エリマネ	←	AP3-1① 観光のまちづくり AP3-1② 蒲田の魅力発信 AP7-2④ 地域の特徴を活かした魅力づくり AP11-2② 歴史的資源等の活用	観光資源の発掘 観光情報の提供-案内 新たな魅力づくり 資源の保全 ・新たな観光資源の発掘 ・PRするキャンペーンやイベントの実施 ・観光情報の提供・案内機能を充実 ・観光情報サイトやマップを作成 ・地域の特徴を活かしながらまちの新たな魅力づくり ・地域の歴史・文化をとどめる資源を保全
			② 旅行者等を受け入れる人材の育成	観光人材の育成 ・観光に携わるボランティアガイド等の人材育成	行政 区民	←	AP3-2② 観光サポーターや地域ガイドの育成・充実	観光人材の育成 ・観光の人材育成と組織化を図る
			③ 羽田空港利用者等が立ち寄る切っ掛け(宿泊・利便施設)の充実	宿泊機能 羽田と連携した施設とサービスの充実 ・宿泊機能や羽田空港の情報やサービスを受けられる施設の設置について、関係機関と検討	行政 事業者	←	AP3-3① 空港利用者向けサービス施設設置の検討	利便な施設の設置 ・羽田空港総合案内所など利用者にとって利便な施設を関係機関と検討

	目標	No.	APタイトル(細)	取組み	実施主体	現行AP(細)	取組み
基本方針2 【都市空間の充実】	5 【ゆとりを感じる利便性の高い駅と駅前広場】 新空港線の整備に向けた取り組みを進めると共に、東西自由通路、駅舎・駅ビルと駅前広場や自転車駐車場などを含む基盤施設の一体的な整備を進め、ゆとりある空間を有し、駅利用者や地域にとっても利便性の高い、基盤施設を目指します。	1	① 利便性が高く人々を集めるJR・東急蒲田駅の再整備	駅の再整備 ・利便性が高く鉄道路線間のスムーズな乗換えを可能とする歩行者空間を備えた駅の整備	行政事業者	AP5-1① 蒲田駅再生整備の促進	駅・駅ビル ・駅の機能強化を目指し、老朽化した駅ビルの建替えを含め、実現に向けた取り組みを進める
			② まちの顔となる駅ビルの駅と一体的なリニューアル	駅ビルのリニューアル ・老朽化した駅ビルのリニューアルに合わせて、歩行者空間の充実や都市機能の集積	行政事業者	AP5-1① 蒲田駅再生整備の促進	駅・駅ビル ・駅の機能強化を目指し、老朽化した駅ビルの建替えを含め、実現に向けた取り組み
		2	① 区内の円滑な移動と広域的な利便を生む新空港線整備の推進	新空港線の整備 ・まちづくりとの連携も考慮しながら、新空港線の整備	行政事業者	AP3-3② 羽田空港への直行バス運行 AP5-2① 新たなアクセス交通網の拡充	新空港線「蒲蒲線」の整備促進 ・羽田空港への直行バス運行の実現 ・新空港線「蒲蒲線」の実現に向けた取り組みを進める
			② 歩行者・駅利用者の円滑で快適な移動を支えるJR・東急蒲田駅東西自由通路の整備	東西自由通路の整備 ・駅東西の市街地の連携を高めるため、東西自由通路の通行機能を強化	行政事業者	AP4-2① 既存東西連絡通路の改善	既存東西連絡通路 ・蒲田駅東西駅ビルをつなぐコンコースの総合的な改善は、将来の駅舎・駅ビルの再開発に合わせて検討
		4	① 多様な移動手段や駅とまちをつなぐ駅前広場の機能向上	駅前広場の整備 ・様々な交通手段の乗降・乗換えや、駅とまちをスムーズに繋ぎ、人々が集いにぎわうオープンスペースを備えた駅前広場の再編整備	行政事業者	AP4-2② 東西自由通路の新設 AP4-1② 交通結節機能の向上 AP4-1① 安心安全な歩行者空間づくり AP4-1③ 快適な駅前環境づくり	駅南北連絡橋 ・駅北側・駅南側線路上への連絡橋の設置 ・新空港線「蒲蒲線」整備に合わせた自由通路の設置についても検討 歩行者空間確保 良好な駅前環境を維持 ・駅前広場の立体的利用などによる歩行者空間確保の検討 ・駅前広場施設の再整備などにより、良好な駅前環境を維持
	② JR・東急蒲田駅東西の連絡性を強化する通路の整備		JR・東急蒲田駅北側通路の検討 ・JR・東急蒲田駅北側通路の機能強化に向けた検討	行政事業者			
	6 【歩いてめぐり楽しめるまち】 商店街や呑川沿いなど道路では、回遊性に配慮した歩行者空間を整備していくとともに、歩行者に配慮した車道の誘導を図るなどにより、思わず歩きたくなり楽しめる歩行者優先のまちを目指します。	1	① 歩行者の円滑な移動と多様な活動を支えるストリートの創出(街路空間の再構築)	歩行者空間の拡充 ・沿道敷地と連携したゆとりある歩行者空間やオープンスペースの確保	行政事業者	新規	
			② 歩行者の安全とまちのにぎわいを創出する駐車場の適正化	駐車場施策 ・地域特性に応じた駐車場隔地化や荷捌き集約化などの駐車場施策を検討	行政事業者	新規	
			③ 緑と潤いのある呑川沿いの散策路の整備	散策路の整備、維持・活用の検討 ・街路樹の植樹や、護岸の壁面緑化、および沿道敷地とも連携した滞在空間の設置	行政	AP2-1① 呑川軸の整備 AP12-1① 呑川軸の整備	緑道の整備 遮熱舗装 ・呑川の緑道が連続的な空間となる整備 ・隣接する公共空間の拠点整備 ・街路樹を植樹 ・遮熱性舗装などで整備 ・自転車駐車場整備に伴い整理
	7 【様々な手段で快適に移動できるまち】 自転車駐車場や自転車利用環境の計画的な整備と合わせて、歩行者・自転車・次世代型の新たなモビリティなどの多様な移動手段の有効活用により、誰もが快適に移動できるまちを目指します。	1	① 地域住民の移動を支え利便性の高い自転車駐車場の整備	自転車駐車場の整備 ・まちづくりとも連携しながら、自転車駐車場の整備	行政	AP8-1① 蒲田駅周辺自転車駐車場の整備	自転車駐車場の整備 ・暫定自転車駐車場整備や既存自転車駐車場の再整備を検討 ・大田区自転車等利用総合基本計画 ・駅周辺での新たな自転車駐車場整備を検討
			② 自転車や歩行者が安全に移動できる自転車利用環境の確保	自転車利用環境の整備 ・自転車ネットワーク整備実施計画に基づき、自転車走行レーンの設置等を進める	行政	AP8-1③ 自転車利用環境整備の推進	走行レーン・サイン ・走行レーンやサイン等の整備について検討
		2	③ 回遊を促し公共交通を補完するコミュニティサイクルの拡充	シェアサイクルの充実 ・道路・公園等への設置や、公開空地等への設置の誘導を進める	行政事業者	新規	
① 新たなモビリティを受け入れる柔軟な交通環境の整備			新たなモビリティサービスの検討・導入に向けた環境整備 ・受入れるための環境の整備を、行政・事業者などが連携しながら進める	行政事業者 エリマネ	新規		

目標		No.	APタイトル(細)	取組み	実施主体	現行AP(細)	取組み		
基本方針2 【都市空間の充実】	8 【建物の更新や活用が進むまち】 共同化・協調化のほか多様な手法による建替えと、リノベーションなどによる既存ストックの有効活用を促進し土地の高度利用を図り、商業・業務・宿泊機能など多様な機能を受け入れ調和した複合市街地の形成を図ります。低層部には店舗が連続し、中高層階には住宅や業務機能などの用途がバランス良く導入されたまちを目指します。	1	① 沿道のにぎわいが連続する複合市街地の形成	低層は商業を中心 低層複合的な土地利用	・低層階には店舗や生活利便施設が連続し、中高層階には業務や住宅等がある、多用途が複合したまちづくりを促進	行政事業者	AP6-1① 商業を中心に住居と融合した土地利用	低層を商業 商住融合	・商業エリアは低層階に商業・業務の置き込みで連続性を確保…店舗と住宅が融合したまちづくりを促進
			② 人々が留まり、にぎわいを生むオープンスペースの拡充	オープンスペースの拡充	・地域の交流や経済の活性化に資するオープンスペースの設置を誘導	行政事業者	新規		
			③ まちの更新を図る老朽建物の建替えと公共施設や街区の再編	老朽化建物の建替え促進	・建物の更新や共同化による土地の高度利用を進める ・駅周辺においては、公共施設や街区等の再編も含めた一体的な整備についても検討	行政事業者	AP6-1③ 建物の建替えの促進 AP7-2① 再開発、建物共同化等の推進	建物更新 省エネ設備の設置	・建物更新を図るためのさまざまな取り組みを検討 ・再生可能な建築資材の使用や自然エネルギーを活用した省エネ設備の設置を促進
			④ 空間的資源の活用によりにぎわいを創出する建物ストックの有効活用	建物ストックの有効活用	・老朽化した建物・商店街の空きテナントなどのリノベーションやコンバージョンを促進	事業者	新規		

目標		No.	APタイトル(細)	取組み	実施主体	現行AP(細)	取組み		
基本方針3 【環境の向上】	9 【災害に強いまち】 大規模災害が発生した際に、機能継続や早期復旧が可能となるまちを目指して、建築物の耐震化や無電柱化などによる減災対策を進めるとともに、避難対応と帰宅困難者対応を円滑に進めるための体制構築により安全・安心なまちを目指します。	1	① 重要な拠点として災害時に都市活動が継続するための備え	災害拠点の強化	・防災拠点となる施設の安全性の確保や機能強化を図る ・産官学でBCPを策定、マイタイムライン公共施設等の機能強化	行政区民事業者	新規		
			② あらゆる危機を想定したレジリエンス(強靱性)の確保	レジリエンスの確保	・道路ネットワーク、エネルギー、情報通信等の主要インフラの維持・管理、更新を進める(リダンダンシー確保) ・自家発電装置の設置	行政区民事業者	新規		
		2	① 地震に強いまちづくりの推進	耐震化・不燃化 無電柱化	・建築物の建替え・改修時において耐震化・不燃化を促進 ・道路整備や地区計画の導入と併せて無電柱化を推進	行政区民事業者	AP10-1① 建築物の耐震化	建て替え・耐震化	・建築物の建替え・改修時における耐震化を促進
			② 水害に強いまちづくりの推進	水害対策	・主要設備等の上階設置 ・堤防や地下空間への水の流入を防ぐ止水設備の設置、および下水機能の強化などの検討	行政区民事業者	新規		
			③ 被災者・帰宅困難者を守る一時避難施設や防災備蓄の整備	帰宅困難者対応	・帰宅困難者の一時滞在施設の確保や物資の備蓄を進める ・施設内での誘導等も関係者と協力して行う	行政事業者	新規		
		3	① 災害に備えた自助・共助・公助の体制づくり	防災意識の醸成	・地域全体の防災意識を高めていく ・行政・事業者・地域住民が連携しながら、協働による活動を推進 ・避難場所や避難経路の周知を図る	行政区民事業者 エリマネ	AP10-1② 防災意識の向上	防災意識・技術連携	・防災訓練、講習などにより地域全体の防災意識と技術を引き続き高めていく ・住民同士の連携、行政との協働による活動をさらに推進

	目標	No.	APタイトル(細)	取組み	実施主体	現行AP(細)	取組み
基本方針3 【環境の向上】	10 【誰もが使いやすい人にやさしいまち】 基盤施設のバリアフリー整備を進めるとともに、「どこでも、誰でも、自由に、使いやすい」を基本に、サービスやサインなどの情報提供や、情報通信技術を取り入れた取り組みにより、人にやさしいまちを目指します。	1	① 人々の多様性を認め受け入れる心のバリアフリーの推進	心のバリアフリー ・豊かな心を育む「心のバリアフリー」教育を進める ・ダイバーシティ&インクルージョン(共生社会)の実現	行政 区民 事業者	AP9-1② 心のバリアフリーの推進	教育 ・豊かな心を育む「心のバリアフリー」教育を進める
			② 外国人とのコミュニケーションを円滑にする多言語化の推進	多言語化対応 ・多言語表示の案内板や商店向け外国語対応会話集やメニューなどを作成する ・おもてなし意識の向上を図り、受け入れ体制を整える	行政 事業者	AP3-1③ おもてなしのまちづくり	意識向上 外国語対応 ・おもてなし意識の向上を図る ・多言語表示の案内板や、商店向け外国語対応会話集・メニューなどを作成
		2	① 誰もがすいすい移動できるバリアフリー化の推進	バリアフリー化 ・公共交通機関や商業施設等の民間建物のバリアフリー化や障害物対策を進める ・車椅子が出入可能な通路幅員の確保や段差の解消などの取組を進める	行政 事業者	AP2-2① 安全安心道づくり AP2-2③ 主要施設誘導路の整備 AP9-2① バリアフリー基本構想の推進 AP9-2② 民間建築物のバリアフリー化	バリアフリー ・歩行者空間の整備や障害物対策などによりバリアフリー化を進める ・周辺主要施設へ円滑に移動できるような整備を進める ・バリアフリー基本構想の重点整備地区に指定し、取り組みを推進 ・民間が所有する建築物についてもバリアフリー化を促進
			② 誰も迷わない分かりやすいサインの整備	サイン整備・維持管理 ・分かりやすさを重視した、案内誘導サインの整備を進める	行政 事業者	AP2-1③ サインの整備 AP7-2③ サインの整備	分かりやすいサイン ・統一感と分かりやすさを重視し、景観にも考慮したサインを整備 ・来街者のために、分かりやすい、景観の視点も考慮したサインを整備
		3	① 全ての人を支える先端技術を駆使した環境の整備	先端技術の導入 ICT活用 ・次世代通信インフラの整備を進める ・防犯情報の提供、高齢者の見守りサービス、多言語化対応、情報案内など、安心・快適・便利を支えるサービスの提供を進める	行政 事業者	← 新規	
		11 【個性と魅力のあるまち】 多文化都市として誰もが気持ちよく過ごせる環境を整備するため、清掃活動の実施や、清潔感を維持するための意識向上の促進、景観の一定程度の誘導により、多くの人に受け入れられるまちを目指します。	1	① まちをみんなで綺麗にする美化活動の促進	物品支援 見回り活動・清掃活動 サインや看板の維持管理 ・商店街の清掃や見回り活動のさらなる充実 ・サインや看板、設備機器などの整備保持 ・美化活動を進める ・ごみの収集等については、行政と地元が協力して、実施	行政 区民 事業者 エリマネ	AP1-2③ 清掃や見回り活動 AP11-1① 美化活動の促進
	② 蒲田らしい固有の魅力を活かした景観の育成			蒲田らしい景観 ・景観づくりに向けた目指すべき方向性について検討	行政 区民 事業者 エリマネ	AP1-2① 商店街の景観づくり AP11-2① 景観計画・ガイドライン等の策定	景観ルール ・建物・景観・用途等のルールづくりを検討 ・景観計画・ガイドライン等を策定
	12 【自然を感じ、環境にやさしいまち】 自然や潤いを感じ快適に過ごしていただくため、公園や道路の緑化や呑川の親水空間整備などにより、自然と親しめるまちをめざします。また、人々を猛暑から守り、まちなかに留まり過ごしていただくための環境づくりを目指します。	1	① 回遊と交流を生む緑を感じる環境の創出	地域住民によるみどりの活動 緑あふれる憩いの場づくり ・公園・緑地・駅前広場のリニューアルや整備に合わせ、緑豊かな憩いの場などを増やす ・緑を保全、創出、育成し、地域の魅力を向上	行政 区民 事業者 エリマネ	AP12-2① 魅力ある広場づくり AP12-2② 魅力ある公園緑地づくり	緑・ふれあい ・駅前広場などの公共広場を再整備し、緑あふれる憩いの場づくり ・公園のリニューアルや緑地整備、地域のふれあいパーク活動も継続
			② 親水性の向上と潤いを創出する呑川の水質改善	呑川の水質改善 ・呑川の水質浄化対策に取り組む	行政 事業者	AP12-1② 呑川の水質改善	水質浄化 ・産・官・学が連携して、呑川の水質浄化対策に取り組む
		2	① まち全体で取り組むエネルギー負荷の低減	環境にやさしい設備の導入 ・ゼロエミッション ・街路灯のLED化や省エネ設備の導入などを進める ・区は区民やまちづくり団体の環境配慮への取組を支援	行政 区民 事業者	AP1-2② 環境にやさしい商店街づくり	LED ・商店街は、街路灯のLED化などの省エネ設備の導入、緑化の推進 ※区がこれを支援
			② 暑い日もまち中で快適にすごせるための暑さ対策の推進	暑さ対策 ・道路の遮熱性舗装を推進し、熱中症の予防につながる夏の暑さ対策を推進	行政	← 新規	

目標	No.	APタイトル(細)	取組み	実施主体
13 【安全・安心なまち】 行政・地域住民・商店会・警察などが連携した防犯活動の実施や、自転車盗難防止に向けた啓発活動などを継続することで、若い人や女性など誰もが安心できるまちを目指します。	1	① 安心してすごせるための地域の力でつくる安全な環境	見守り活動 安心安全パトロール 治安維持のための設備の導入	行政 区民 エリマネ
		② 正しく自転車に乗ろうマナーアップの推進	自転車利用者への啓発	行政 区民

現行AP(細)	取組み
AP10-2① 治安維持のためのルールづくり	ルールづくり
AP10-2② 地域の力でつくる安全なまち	見回り 防犯灯・防犯カメラ
AP8-2① 放置自転車対策	放置自転車撤去 啓発活動
AP8-2② 自転車利用者への啓発	

←

←

- ・地域住民を主体に、犯罪のない、安心して過ごせるまちを目指すルールづくりなど行政と連携した対策に取り組む
- ・美化活動（AP11-1）を引き続き推進
- ・地域の住民による見回りを行う
- ・地域で防犯灯・防犯カメラ等の活用について検討
- ・行政、鉄道事業者、地元関係者がそれぞれの役割で対応
- ・放置自転車撤去は引き続き取り組む
- ・利用者への啓発を促進